

研究公開文書

2026年 3月 30日

研究名	気管支洗浄液等を用いた高感度肺がんマルチ遺伝子NGSパネルの有用性の多機関検証試験： A Prospective multicenter study for evaluation of the Accuracy and clinical usefulness of the high-sensitivity NExt-generation sequencing panel using bronchial washing fluid from Lung cancer (cPANEL-2試験)
研究の概要	生検を回避すべき一定数の症例に対する代替手段の開発のため、気管支洗浄液を使用した肺がん遺伝子パネル検査の有用性を前向きに検証する。この検討により、簡便かつ低侵襲な手技の確立がなされ、超高齢者、検査高リスク症例、外来検査希望症例など、生検を回避すべき一定数の症例に対する代替手段の開発が可能となる。
研究対象	肺悪性腫瘍（非小細胞肺癌）の疑いで診断目的の検査（気管支洗浄+rEBUS併用直達採取法）を行い、かつrEBUS併用直達法及び洗浄液細胞診で病理染色にて悪性細胞を確認できたもの
研究責任者	横瀬智之
研究実施期間	研究許可日から2028年3月31日まで
連絡先	病理診断科 横瀬智之 小田原市久野4番地 小田原市立病院 0465-34-3175